

かわさきパラムーブメントを一層推進する決議

2020年、東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が56年ぶりに開催され、この大会ビジョンにおいては、世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会を育む契機となるような大会とすると明記されている。

本市においては、障害者を始め、マイノリティとされている人たちが生き生きと暮らす上で障壁となっている、私たちの意識や社会環境のバリアを取り除き、誰もが社会参加できる環境を創出することを理念として、かわさきパラムーブメントの取組を推進しているところであるが、本市内に十分に浸透しているとは言えない状況である。

大会の開催に合わせて、かわさきパラムーブメントに積極的に取り組むことにより、その理念を本市内外にも広げていく契機とし、ひいては障害の有無、人種、性別、年齢等にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる地域社会の実現につながるものとすべきである。

よって、本市議会は、大会まで1年余りとなった今、かわさきパラムーブメントの機運を更に高め、その取組を一層推進することを強く決意するものである。

以上、決議する。

平成31年3月15日

川崎市議会